

第1学年 特別活動〔ホームルーム活動〕学習指導案

授業者 賀茂北高等学校 教諭 柳楽和人
教諭 花田光輝

- 1 実施日時 平成26年7月31日(木) 13:20~14:10
- 2 対象年・期 第1学年 広島県庁本館 講堂
- 3 単元名 学校における多様な集団生活の向上
- 4 主題名 法の遵守 4-(1)
- 5 資料名 「仏の銀蔵」 出典:中学校道徳 読み物資料集(文部科学省)
- 6 本時のねらい

証文なしでも借金の返済をするようになった村人の良心に触れ、道徳的に変化する銀蔵の姿を考えることを通して、内なる規範(良心)に従って生きようとする道徳的態度を育てる。

7 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導 入	1. 日常生活のありそうな 場面で考える。	○ 突然雨が降ってきた時に、置きっぱなしのビニール傘があることに気付いたら、どうしますか。 ・ 持ち主に悪いから使わない。 ・ 自分のふりをして使う。	・ 日常にありがちな場面を想起させる。 ・ あまり時間をかけすぎない。
展 開	2. 資料の範読を聞き、銀蔵について考える。 (1) 証文さえあれば厳しく取り立ててもよいという銀蔵の考えを知る。 (2) 証文も20両も失い、取り立てができなくなった銀蔵の心情に共感する。 (3) 村人の行動の変化を考える。	○ 今日昔のお話を読んで、主人公である金貸しの銀蔵の言動について考えていきます。 ○ なぜ銀蔵は20両を賽銭箱に入れてでも、証文綴りを取り返そうとするのだろう。 ・ 証文がないと人々が貸した金を払わないから。 ・ 貸した金を絶対に取り返したいから ・ 証文がないと返済をしない村人を見返したいから。 ○ がっくりと肩を落とした銀蔵はどんな思いだっただろう。 ・ 証文がないので、これ以上何も言えない。 ・ 八方ふさがりで、打つ手がない。 ○ 「お天道様が見てござる」とあるが、村人は何を見られていると思ったのだろう。 ・ 証文がないのをいいことに、嘘をつき、お金を返さずにいること。 ・ 銀蔵の苦悩を面白がり、喜んでいること。	・ 銀蔵が感じたことに注意させながら、範読を聞かせる。 ・ 証文を取戻し、それを盾に厳しく取り立てようという考えを押しさえる。 ・ 証文がなくては自分の金だと主張できないどうしようもない苦しい状況に陥ったということを押しさえる。 ・ 「お天道様」を設定することで自分が間違っていた考えをしていたことに気づき、内なる規範(良心)に従って行動しようとした過程を考えさせる。

<p>展 開</p>	<p>(4) 村人の行動の変化によって、銀蔵にどのような変化があったのかを考える。</p> <p>3. 内なる規範（良心）について考える。</p>	<p>○ 「そうか、お天道様か」と言って膝を打った銀蔵は、どんなことを考えているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分にも「お天道様」がいて、見られているのだ。 ・ 「お天道様」に恥ずかしくない生き方をしなくては。 ・ 村人の気持ちを考えずに自分の儲けのことしか考えていなかった。 <p>◎ （村人や銀蔵を見ていた）「お天道様」とは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神様、仏様、お地蔵様 ・ もう一人の自分 ・ 良心 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに記入させる。 ・ 村人も銀蔵も「お天道様」の存在に気づき、生き方を変えようとしたことを押さえて発問する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに記入させたのち、ペアで書いた内容の意見交流を行う。 ・ 意見交流ののち、指名して発表させる。 ・ 抽象的な答えには、「神様とは何か」「具体的には？」など、深められるよう、さらに問い返す。
<p>終 末</p>	<p>4. 授業を振り返り、考えたことや感じたことを書き発表する。</p>	<p>○ 今日の授業を振り返り、考えたことや感じたことを書き、発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに記入させる。 ・ 自分は、どんな生き方をしようと思ったかについても考えさせる。

8 板書計画

<p>・ 良心</p> <p>・ もう一人の自分</p> <p>・ 神様、仏様、お地蔵様</p> <p>「お天道様」とは何だろう。</p> <p>・ 自分にも「お天道様」がいて、見られているのだ。</p> <p>・ 「お天道様」に恥ずかしくない生き方をしなくては。</p> <p>・ 村人の気持ちを考えずに自分の儲けのことしか考えていなかった。</p>	<p>「そうか、お天道様か」と言って膝を打った銀蔵は、どんなことを考えているのだろう。</p> <p>・ 証文がないのをいいことに、嘘をつき、お金を返さずにいること。</p> <p>・ 銀蔵の苦悩を面白がり、喜んでいること。</p> <p>「お天道様が見てござる」とあるが、村人は何を見られていると思ったのだろう。</p> <p>・ 証文がないので、これ以上何も言えない。</p> <p>・ 八方ふさがりで、打つ手がない。</p>	<p>仏の銀蔵</p> <p>なぜ銀蔵は二十両を賽銭箱に入れてでも、証文綴りを取り返そうとするのだろう。</p> <p>・ 証文がないと人々が貸した金を払わないから。</p> <p>・ 貸した金を絶対に取り返したいから</p> <p>・ 証文がないと返済をしない村人を見返したいから。</p> <p>がつくりと肩を落とした銀蔵はどんな思いだっただろう。</p>
--	---	--

9 準備物

読み物資料, ワークシート, 貼り物

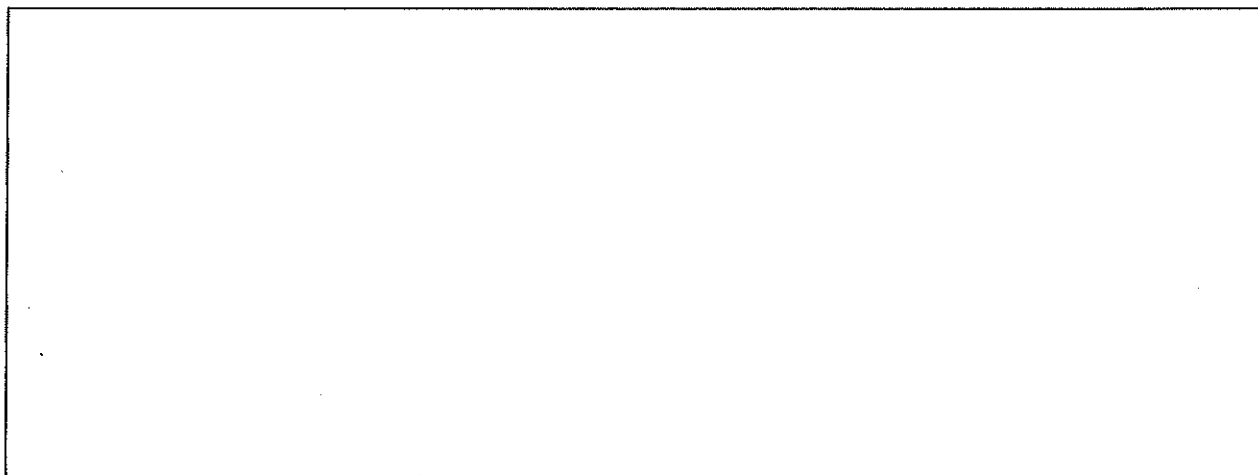
特別活動ワークシート

「仏の銀蔵」

組 番 氏名

○ 「そうか、お天道様か」と言って膝を打った銀蔵は、どんなことを考えているのだろうか。

○ 「お天道様」とは何だろうか？



○ 今日の授業で考えたことと感じたことを書きましよう。